

特定非営利活動法人
平成21年　夏号　NO.39

http://nepal-mika.jp
saito@westeast.co.jp



ネパール・ミカの会

平成21年7月18日発行　194-0035東京都町田市忠生2-5-36　tel:042-791-0602

ネパールの螢、わが家のホタル

理事長　齋藤　謹也

6 月下旬から 7 月上旬にかけて、境内の墓地に行く道に、ホタルが舞いだしました。2～3 年前位に、1～2 匹飛んでいる姿をみかけ、喜んでいたが、今年は 10 匹以上飛んでいます。20 年前位は、源氏螢が行きかい、なかなかの風景であったのですが、みかけなくなって久しくさびしい想いをしていました。ようやく、復活の願いが届いたのかなあと、うれしい初夏をすごせました。

日本には 10 種ほどいるそうですが、源氏と平家ボタルしか私は知りません。小さな体の尾の発光をみる毎、不思議な、幻想的な感を覚えます。

最近あちこちで、ホタルの話がでてくるようになりました。前はよく小山田大泉寺近くまで見に出かけたのですが、足元下に復活のキザシがみえたことに、驚きとよろこびを感じています。

ところで、ホタルといえば、すぐ連想するのが、「ネパールの螢」。そうはいっても、私自信見たのは、ルンビニ公園に向かう街道すじや、公園内でのホタル乱舞であり、非常に限られた地域ですが、そこでは、下の草むらも勿論ですが、何といっても見上げる、しかも大きな木にびっしりと上までとまっている「ホタルの木」。雨季あけの 9 月～10 月初旬まで、見受けられましたが、実際には私達がネパールに訪問した時にみただけであり、何日までとはいえません。特別な木にのみついて発光するさまは、すごいなあと思います。

夏になると想い出すはるかなネパールのホタルの木。今年はわが家の境内のホタルをみながら、ネパール･ルンビニを想い出す幸せを感じました。

ホタルだけでなく、天空の塩や、小さな財布入れなど、いろんな結びつきを通して、ネパールの国が本当に身近に感ぜられますね。

（H21 年 7 月 7 日記）



定　期　総　会

5 月 16 日（土）に特定非営利活動法人ネパール・ミカの会定期総会が町田市民ホールにて午後 3 時より行われました。日ネ協会の伊藤忠一会長はじめ来賓が臨席して齋藤孝理事の司会により今村副理事長が開会の辞を述べ本年の議長は榎本理事が選出され議事に入りました。本総会は出席者と委任状をあわせて全会員の過半数に達していた為、総会は成立と議長よりその旨の報告がありました。

1. 平成 20 年度事業報告（大谷理事より）
2. 平成 20 年度決算報告（青沼理事より）
3. 平成 21 年度事業計画案（大谷理事より）
4. 平成 21 年度予算案（青沼理事より）

以上が上程され満場一致にて可決されました。
次に任期満了に伴う役員改選の件が上程され齋藤理事長より新役員の発表があり、これも満場一致で可決されました。
新旧役員は以下の通りです。
理事：齋藤　謹也（理事長）
理事：青沼　義信（総務担当副理事長）
理事：今村　旭（事業担当副理事長）
理事：大谷　安宏（副理事長・事務局長）
理事：和田　泰子（事務局次長）
理事：松浦　陽子（会計担当）
理事：穂坂　光紀（会計担当）《新任》
理事：中野　千恵子（事業担当）
理事：齋藤　孝（広報担当）
理事：榎本　真幸（総務担当）
理事：七川　冨美子（広報担当）
理事：ヌルブ・ラマ（現地責任者）
監事：加藤　雅子《新任》
監事：松瀬　隆司《新任》
退任は
坂　育夫（総務担当副理事長）
加藤　誠一（副理事長）広報チーフで留任
濱崎　ヤスエ（監事）
小林　公子（監事）

会員の皆様のご協力を頂き、新体制の役員でスタートを切りました。よろしくお願いします。

役員改選後ヌルブ・ラマ理事から現地報告があり、本総会は無事終了し引き続き同会場にて懇親会が行われました。



総務担当 副理事長就任に当って

副理事長　青沼　義信



先の定期総会において坂氏、加藤氏の副理事長退任に伴い、私は坂氏が担当していた総務担当として副理事長に選任され就任いたしました。
会の活動も13年を経、かねてより会員の高齢化による活動の硬直化に不安を感じており、自分なりに75歳を区切りとして理事を辞し若年者に今後を託すべきと考えておりました。

本来理事を辞すべき自分が副理事長をお引き受けすることは若年化にブレーキを掛けることになるのではないかとの懸念がありましたが、この度これまで私が担当していた会計を松浦理事と、税理士を目標に勉強している新任の穂坂理事に無事バトンタッチを終えたこともあり、会として総務担当に不備を生じることになったことから、次の総務担当者への橋渡し役として1期2年間を限度としてお引き受けしたものです。
今後は現在の総務としての実施内容を基に、皆様のご指導をいただきながら「誰でも出来るボランティアの総務」を目指し、形作りをしていきたいと思っていますので、皆様のご理解ご協力を切にお願い申し上げます。

会計担当理事になって

穂坂　光紀



今年の総会において会計担当の理事に選任して頂きました。青沼新副理事長の後任という形になります。ミカの会に

おいてはおそらく（？）最年少の会員であり、経験浅い私などが理事など大それたことではありますが、現在の私の本業である会計の仕事を通じてミカの会のお役に立てることは本当に嬉しいことであります。これから大先輩たちのご指導、ご意見を伺いながら責任をもって全うしていきたいと思っています。

私事ながら今年の3月に父が他界し、それがきっかけで実家である小田原に戻ったこと、そして4月から仕事と並行して大学院に入学したことなどの環境の変化が重なり現在は多忙な日々を過ごしています。そんな中で理事に就任してはたして全うすることができるのかと正直悩みましたし、何度も自問しました。そこで出た答えが「むしろ今だからこそやるべき」だということです。人生において今が自分を大きく成長させてくれる時期なのではないのかという気がします。多くの人達から経験を通じて学び自分を磨けと。今がそのチャンスなんだと。

大学院が始まってから土曜日に大学に行き、日曜日に仕事をすることが多くなりバザーや祭りの出店のお手伝いに行けないことが多くなりました。僕のポジションである焼きそばの麺ほぐしが出来なくてヤキモキしています（笑）だからこそ普段お手伝いができない分、会計という形でお手伝いしようという気持ちが強まりました。

今回は私だけでなく七川さんも理事に就任し、松瀬さんも監事に就任するなど若手を抜擢して頂いたので今までのミカの会の作り上げてきた想いを大事にしながら新しいアイデアが出せたら良いなと思っています。

まだ若輩なので到らないことばかりだと思いますが頑張っていきたいと思いますので今後ともよろしくお願いいたします。

ネパール大使館にて感謝状授与式



ネパール･ミカの会のこれまでの功績と、会員でもある植草三樹男氏の校舎建設資金の寄付に対してネパール特命全権大使ガネシュ･ヨンザン･タマン閣下より感謝状の授与がありました。併せてネパール･ミカの会が創立より会に貢献されこのたび退任した坂育夫氏･加藤誠一氏にもネパール大使及びネパール･ミカの会齋藤理事長より感謝状の授与がネパール大使館にて行われました。

6 月 23 日（火）に坂育夫･加藤誠一前副理事長は齋藤理事長･青沼副理事長･今村副理事長･植草氏･和田理事･齋藤孝理事とともに下目黒に移転したネパール大使館に訪れました。現地ではゴビンダ氏の通訳で午後 3 時より式典が行われました。セレモニーは予め大使館で用意されたプログラムにのっとりドゥルガ･バハドュール･スベディ副大使の司会で進行され、最初にネパール･ミカの会に感謝状の授与があり齋藤理事長が代表して受け取りました。



続いて校舎建設に基金された植草三樹男氏に感謝状の授与がありました。



坂育夫･加藤誠一前副理事長には 12 年間の功績を称え齋藤理事長とタマン大使の連名で感謝状が渡されました。

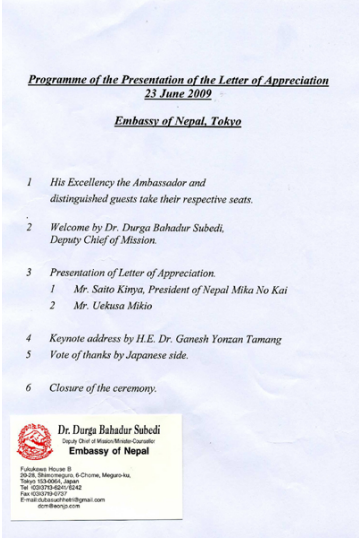




授与式終了後ガネシュ･ヨンザン･タマン大使とミカの会会員は談笑し和やかな雰囲気で終了しました。



↓授与式プログラム（ネパール大使館作成）



Programme of the Presentation of the Letter of Appreciation
23 June 2009

Embassy of Nepal, Tokyo

1 His Excellency the Ambassador and distinguished guests take their respective seats.

2 Welcome by Dr. Durga Bahadur Subedi, Deputy Chief of Mission.

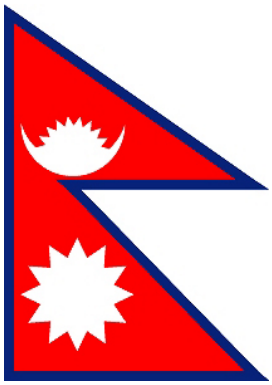
3 Presentation of Letter of Appreciation.
1 Mr. Saito Kinya, President of Nepal Mika No Kai
2 Mr. Uekusa Mikio

4 Keynote address by H.E. Dr. Ganesh Yonzan Tamang

5 Vote of thanks by Japanese side.

6 Closure of the ceremony.

Dr. Durga Bahadur Subedi
Deputy Chief of Mission/Minister-Counsellor
Embassy of Nepal







12 年間有難う御座いました。

前副理事長　加藤　誠一



1997 年 3 月、斉藤理事長に誘いを受け、初めての支援活動とも言えるマホマディア小学校の屋根修繕工事の完成式に参加することになった。
全くの予備知識も無く訪問したので驚く事ばかり。
ロイヤルネパールで深夜到着したカトマンドゥの暗さや、小遣い稼ぎの子供たちの群れ、空気の悪さにびっくりした。
それでもカトマンドゥ、パタン、バクタプルの宗教建築物、仏像に圧倒され、チトワンの大自然に大感激しました。もちろん途中観光で立ち寄ったポカラでのマチャプチャレとの対面は今でも忘れる事のできない経験でした。

ミカの会が正式に発足する前の旅でしたから、子供たちとあえたのはマホマディア小学校だけでしたが、その印象は衝撃的で、12 年経った今でもはっきり覚えています。
皆さんが思われるのと同じで、大きくて綺麗な輝く瞳、人懐っこい笑顔に驚き、感激しました。
これらの印象は今でも変わることなく脳裏に浮かび、支援活動の根源となっています。

ネパールの政情悪化が子供たちの教育環境を破壊している頃、2004 年より 3 年連続してネパールを訪れるチャンスを頂きました。
その間もミカの会は多くの学校建設、図書支援などを進めており、それぞれの支援校を視察すると、感謝と更なる支援の要望を受けるようになり、NGO 団体としてルンビニ地区では地元の方からも認知されるようになってまいりました。

発足以来、副理事長をさせて頂いて参りましたが、2 年前の心臓手術後の養生の為に副理事長を退任させていただく事になりました。
発足当時の副理事長高原さんは故人となられ、坂さんは私と一緒にこの度退任する事になりました。会の新陳代謝の為にも必要な事と考えます。
新しい理事者の下で支援事業が益々活発に進められることを期待して、これまでの至らぬ事をご容赦いただきますようお願いいたします。

ルンビニ地区支援小学校生徒数10年間推移について

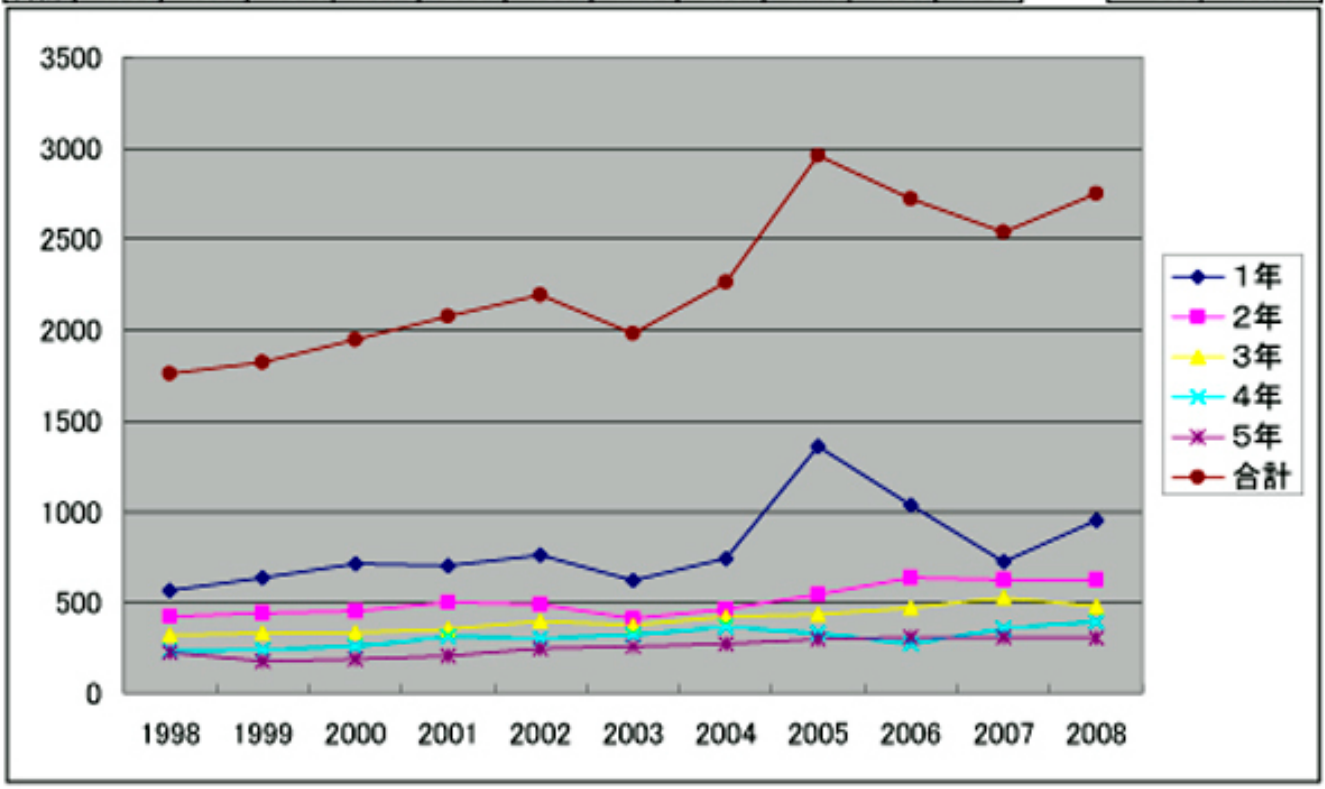
青沼　義信

会の本格的活動が開始された1998年よりルンビニ地区の支援7校の生徒数を調査し、2008年までの10年間にどのように推移したかをグラフにまとめました。
この調査はミカの会の支援の効果を計る方法の一つとして実施していますが、1998年と10年後の2008年との比較では生徒数伸び率156．25%、人数にして990人の増と就学者は大きく伸びております。
又、就学者男女比率を見ると1998年の女子就学者が25%にも満たなかったのですが、2008年には47%と半数近くになり、会の支援目的の一つでもある女子就学率向上に大きな効果を上げていると言えましょう。

ルンビニ地区　支援7小学校生徒数推移　男女合計
アディアリ、グルワニマイ、マズワニ、シリ・ラム、スンディ、ルンビニ、ハジヤナ・エトラハ

	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
1年	565	636	714	703	760	620	741	1360	1035	724	953
2年	423	441	453	500	488	411	462	542	634	624	623
3年	319	331	335	352	396	375	423	433	471	524	478
4年	230	238	256	312	301	318	367	330	271	358	392
5年	223	176	189	207	246	257	271	296	309	309	304
合計	1760	1822	1947	2074	2191	1981	2264	2961	2720	2539	2750

1998：2008	
増加数	伸び率
388	168.67%
200	147.28%
159	164.26%
162	149.84%
81	136.32%
990	156.25%



アディアリ小学校　男子率73.33%→54.12%　女子率26.67%→45.88%

グルワニマイ小学校　男子率66.00%→51.47%　女子率34.00%→48.53%

マズワニ小学校　男子率65.89%→49.52%　女子率34.11%→50.48%

シリ・ラム小学校　男子率77.99%→45.43%　女子率22.01%→54.57%

スンディ小学校　男子率81.17%→52.83%　女子率18.83%→47.17%

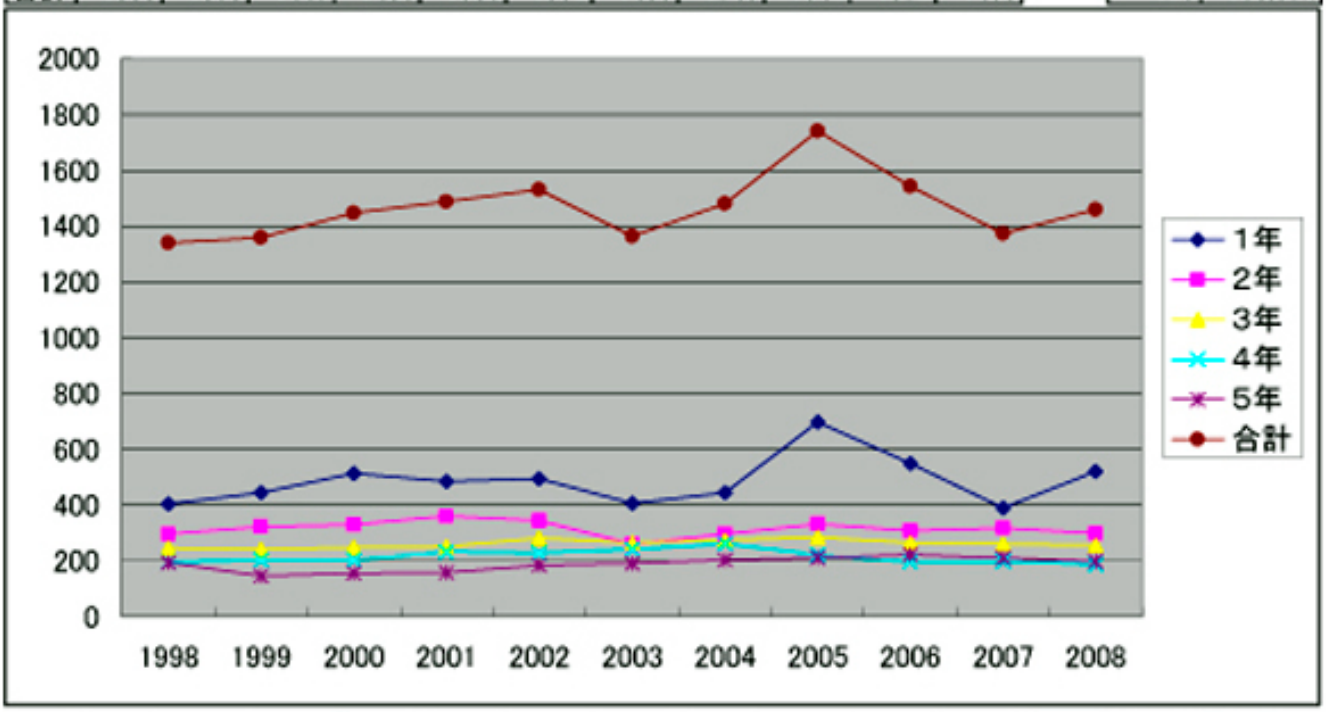
ルンビニ小学校　男子率70.18%→63.73%　女子率29.82%→36.27%

ハジヤナ・エトラハ小学校　男子率89.12%→63.37%　女子率10.88%→36.63%

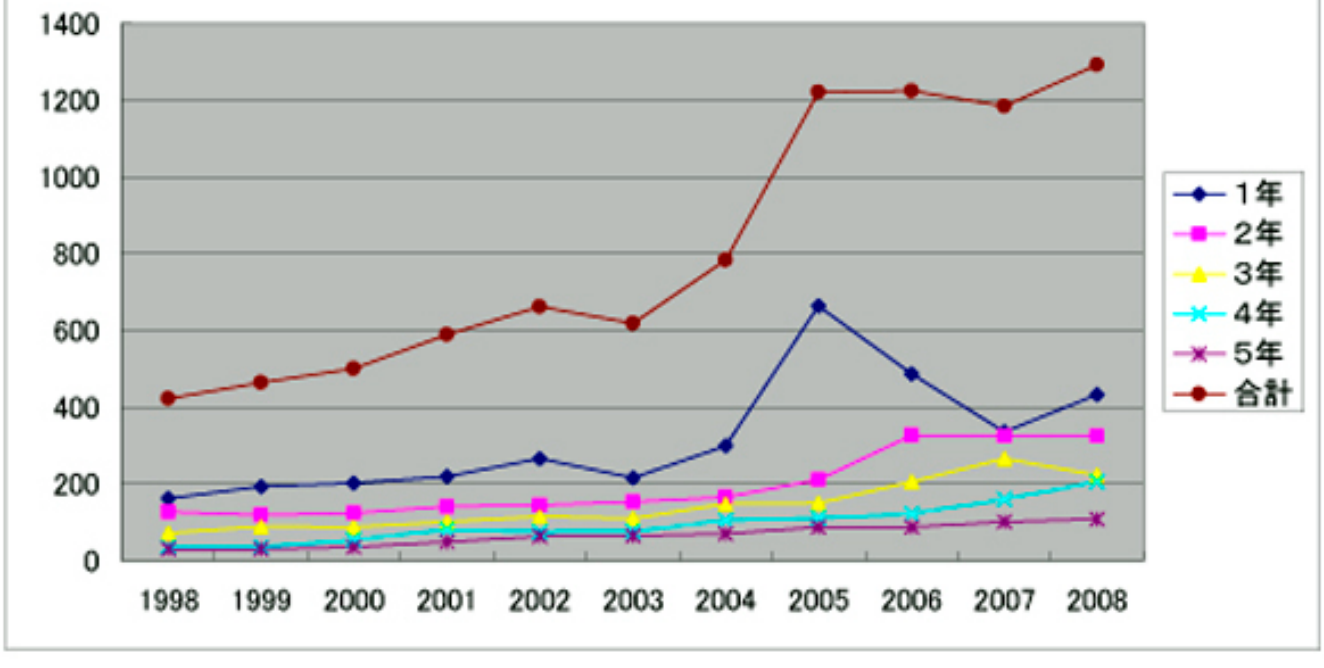
小学校7校合計　男子率（1998→2008）＝76.02%→53.02%　女子率(1998→2008)=23.98%→46.98%

男女別生徒数の推移　支援7小学校
アディアリ、グルワニマイ、マズワニ、シリ・ラム、スンディ、ルンビニ、ハジヤナ・エトラハ

男子	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	1998：2008 増加数	伸び率
1年	404	444	513	485	494	405	443	697	549	389	521	117	128.96%
2年	297	323	329	360	344	259	297	331	308	317	298	1	100.34%
3年	247	242	249	251	281	265	275	284	266	259	255	8	103.24%
4年	196	203	202	232	227	241	263	219	196	198	187	-9	95.41%
5年	194	146	154	158	184	192	202	209	223	209	197	3	101.55%
合計	1338	1358	1447	1486	1530	1362	1480	1740	1542	1372	1458	120	108.97%



女子	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	増加数	伸び率
1年	161	192	201	218	266	215	298	663	486	335	432	271	268.32%
2年	126	118	124	140	144	152	165	211	326	325	325	199	257.94%
3年	72	89	86	101	115	110	148	149	205	265	223	151	309.72%
4年	34	35	54	80	74	77	104	111	122	160	205	171	602.94%
5年	29	30	35	49	62	65	69	87	86	100	107	78	368.97%
合計	422	464	500	588	661	619	784	1221	1225	1185	1292	870	306.16%



ラマ氏と懇親旅行

総会が終了し 5 月 18 日（月）19 日（火）と 2 日間でラマ氏と伊豆伊東温泉に懇親の旅に行きました。



ロマンスカーにて小田原で乗り換え JR 次の早川駅で下車し早川漁港へ行き海の幸で昼食です。
生ものが好きなラマ氏です。



早川駅からのんびり JR ローカル線で伊東駅に着き、宿の伊東園でチェックインした後全員で町の散策に出かけました。



夕食は海の幸で楽しく宴会を行い、早めの消灯です。
翌日は大室山観光し城が崎で昼食を取り伊東の町に戻りそれぞれお土産を買い求め帰宅の途につきました。



イベントでのバザー

芹が谷公園さくら祭



3 月 28 日 29 日は町田市のさくら祭で会場の一つである芹が谷公園でミカの会は昨年に続き出店しました。チョットしたトラブルがありましたが、会員の団結力で問題をクリアし売上も好調に推移しました。隣の富士宮ヤキソバは売上不振。

相模原さくら祭



町田さくら祭の翌週 4 月 4 日 5 日に相模原のさくら祭に参加しバザーに出店しましたが、今年は立地が非常に良くネパールのスリジャナさんの応援もあり売上は過去最高の記録を出しました。

わんぱく相撲バザー



町田青年会議所によるわんぱく相撲が 5 月 3 日に旭町のサン体育館で行われミカの会のバザーが出店しました。

ボラ連協バザー



５月９日には町田ボランティア連絡協議会によるバザーがぽっぽ町田で行われました。

福祉フェアー



７月４日（土）に町田市社会福祉協議会主催による福祉フェアー（販売編）が実施されました。心配された天候は朝がた曇で昼からは晴天となり盛況に終わりました。

今後の予定

９月　５日（土）・　６日（日）・・・横浜国際フェスタ（？）
９月　５日（土）・　６日（日）・・・フェスタ栄通り（？）
10月10日（土）・11日（日）・・・町田大道芸
10月24日（土）・25日（日）・・・相模原国際交流フェスタ
11月　１日（日）　　・・・夢広場
12月19日（土）　・・・移動例会・忘年会（時間、場所未定）

日本・ネパール・フレンドシップ スポーツ・フェスティバル



日本とネパールの交流を目的として、日ネ協会主催のスポーツイベントが３月２０日に開催されました。ミカの会からは若者４人がエントリー。頼もしい限りです。私たち中高年も負けじと応援に駆けつけました。会場になった江東区夢の島競技場に向かう頃は小雨で、どうなるか心配でした。参加費千円を払い、揃いの　T　シャツを着て、まず体力測定。久しぶりに握力、前屈、背筋力等チェックし、みな思っていたより好成績に気をよくしました。開会宣言、ナマステ体操をする頃には、青空も広がってきました。ネパールのラジオ体操のようなナマステ体操は、いつか機会があったら覚えたいものです。スポーツ青年Ｍさんはお子さん２人をつれて、家族揃っての参加。親子で徒競走は、ほほえましい光景でした。笑顔が素敵なKさん、華奢に見えますがスポーツもなかなかです。ミカの会女性ホープＮさんは久しぶりの徒競走というのに、素晴らしい走りを見せてくれました。ネパールの方々も楽しそうに、でも結構、真剣勝負してました。砲丸投げは一発勝負。ネパール人は負けず嫌い？？うーん、もう一回投げさせてくれたら、今度こそ！の気持ちがむんむん伝わってきました。競技は走り幅跳び、パン食い競争、カバディ等まだまだ続いたようですが、私は午後から用事があったので、後ろ髪を引かれる思いで競技場を後にしました。後で聞いたことですが、ミカの会の若者グループは大活躍だったそうです。出場者にも応援の私たちにも楽しいイベントでした。（若者グループの一人　H　さんは、ご家族のご不幸で不参加となりました。皆でご冥福を祈りながらの参加となりました。）

和田泰子



From　Editor

５月 16 日（土）のネパール・ミカの会定期総会でベテラン副理事長は２名退任され新たに若手２名が加わり新体制がスタートをしたことは前文の記事に書かれています。新理事会も行われ新体制での役割分担と、会としての今年度方針について語られました。中間調査を昨年は取り止めていましたが、今年度からは再実施することとなり秋を予定しています。ルンビニの地区には 32 の小学校があり当会が支援した学校は 12 校でまだ 20 の学校があります。これらの学校を総て調査し今後の支援校の指標作りの作成が上げられ、今年度のティナウ小学校校舎建設の推進を図ることになりました。
役割については今まで漠然としていた総務の活性化を図るため目一杯あった事務局の作業の振り分けを行います。
また会報については最近の ２ 年間は不定期に発行されていたのですが、本年度より発行月を４月/７月/10 月/1 月を固定化し若手会員はじめ多くの会員の意見を取り入れた企画で編集委員会を作り会員総てが参加している会報の発行を考えています。今後広報から原稿依頼や取材依頼があることと思いますが、よろしくご協力をお願いします。

West east